

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名, 災害時相互応援協定参画事業, 事業区分, 担当, 政策体系, 総合計画の施策名, 政策名, 施策名, 基本事業名, 予算科目, 法令根拠.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像), ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details on disaster response and inter-municipal cooperation.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 6 columns: ①手段, ④活動指標, 単位, 26年度(実績), 27年度(実績), 28年度(計画), 29年度(目標), 30年度(目標). Includes data for participation in coordination meetings and agreements.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table with 7 columns: 26年度(実績), 27年度(実績), 28年度(計画), 29年度(目標), 30年度(目標), 期間限定総投入量. Includes sub-tables for 事業費内訳 and 人件費.

Table with 4 columns: 27年度事業費実績 (千円), 28年度事業費予算 (千円), 合計. Includes rows for 09 旅費 and 19 負担金補助及び交付金.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns: 28年度の事業内容, 29年度の事業内容, 30年度の事業内容. Includes a list of activities like '主要事業', '市長マニフェスト', etc.

| | | | | | |
|-------|---------------|---------|-------------|-----|-------|
| 事務事業名 | 災害時相互応援協定参画事業 | 事務事業No. | 40102000686 | 所属課 | 生活安全課 |
|-------|---------------|---------|-------------|-----|-------|

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

| |
|--|
| (5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併前に締結した自治体間の相互応援や民間事業者からの物資や飲料水の供給などに関する協定を引き継ぐと共に、東日本大震災後は、必要性が再認識され、更なる推進を図ってきた。 |
| (6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 方が一の大規模災害に備えた取り組みとして、市民の期待は高い。 |
| (7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 今後も引き続き、民間団体や関係機関との応援協定締結を進める必要がある。 |

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

| 評価項目 | |
|-----------|---|
| 目的 妥当性 | ①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 大規模災害が発生した場合は、自治体や民間の相互応援が必要不可欠であり、協定等の締結や自治体間の連携強化は、市民の安心安全につながる。 |
| | ②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 災害対策は、災害対策基本法の基づく市の責務であるため、市が行うことは妥当である。 |
| 有効性 | ③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 今後も、様々な団体や関係機関との応援協定締結を進めることにより、成果の向上が図れる。 |
| | ④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 大規模災害時に支援を受けられなくなる。 |
| | ⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。 |
| 効率性 | ⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 必要最小限の経常経費であり削減できない。 |
| 公平性 | ⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 災害対策事業は、全市民を対象としたものであり公正・公平である。 |

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|----|----|-----|--|--|----|----|----|----|----|--|--|--|----|--|---|--|--|----|--|--|--|
| (1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | (2) 全体総括(振り返り、反省点) 東日本大震災以降、日頃の防災への備えが重要視されている。大規模災害時は、自治体単独での対応が困難であることから、今後も、様々な団体等への支援要請を行い協定締結を積極的に進める必要がある。 昨年は、関東東北豪雨災害により常総市への支援を行ったが、日頃から連絡体制や支援の在り方を検討し、方が一の災害に備えておく必要がある。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる | (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | | コスト | | | 削減 | 維持 | 増加 | 成果 | 向上 | | | | 維持 | | ○ | | | 低下 | | | |
| | | | | コスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | 向上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 低下 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 協定締結には相手側の理解と協力が前提となるため、必要な支援については根気強く要請して行くものとする。 | (6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ③ コスト削減優先度評価結果 ⑨ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

| | |
|--|---|
| (1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出 | (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/> |
|--|---|